



目次

付着生物確認種

ムギガイ	1 p
ムラサキイガイ	1 p
エゾカサネカンザシ	2 p
サンカクフジツボ	2 p
シリケンウミセミ	3 p
ヒゲナガヨコエビ科の一種	3 p
モクズヨコエビ科の一種	4 p

付着生物図鑑

●種名● ムギガイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道南部以南、九州、朝鮮半島、中国に分布する。

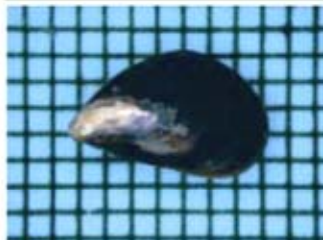
●形態● 殻高約9mm。殻は厚く、紡錘型で平滑。殻口は狭く、外唇内壁に小歯状のひだがある。

●生活● 潮間帯から水深約100mの岩礫底に生息する。

出典：世界文化生物大図鑑 Illustrations of animals and plants 貝類
(株式会社 世界文化社)

付着生物図鑑

●種名● ムラサキイガイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● ヨーロッパ原産。日本を含む世界中の温帯域に分布する。別名ムールガイ。

●形態● 殻長約7cm。殻は薄く、ふくらむ。亜三角形で、殻頂部はとがり、腹縁はわずかに張り出す。外面は黒紫色。

●生活● 潮間帯から水深約20mの岩礁に足糸で付着している。内湾的な環境を好む。

出典：世界文化生物大図鑑 Illustrations of animals and plants 貝類
(株式会社 世界文化社)

付着生物図鑑

●種名● エゾカサネカンザシ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では九州以北に分布する。

●形態● 棲管の直径約3mm。殻蓋は盃状体の上に、ほとんど放射相称形の上部盃状体を持つ。

●生活● 岩礁性海岸の浅海の岩や貝殻などの上に群棲する。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑[Ⅱ]（保育社）

付着生物図鑑

●種名● サンカクフジツボ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 本州以南の暖流域に生息する。

●形態● 直径1.5cm程の大きさで、赤またはピンク色の地肌に白色の肋をもち、背板の太い距が特徴的である。

●生活● 低潮線から4000mを越す深海底の海や岩などに、また浮遊しているフイなどにも付着する。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑[Ⅱ]（保育社）

付着生物図鑑

●種名● シリケンウミセミ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

北海道以南の日本海沿岸、太平洋沿岸、中国、朝鮮半島に分布する。

●形態●

体長雄7mm、雌はやや小形。体は黄色、黄緑色、褐色など変異がある。

●生活●

潮間帯～亜潮間帯の海藻の間、石の下、波消しブロックの隙間にすむ。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑〔Ⅱ〕（保育社）

付着生物図鑑

●種名● ヒゲナガヨコエビ科

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

世界に14属、日本には3属が知られている。

●形態●

第2咬脚の性差が著しく、雄では種の特徴を良く示すが、雌での種の判別は困難である。第3尾肢の外枝先端に1対の鉤状棘を備える。

●生活●

主として海藻上に巣を作る。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑〔Ⅱ〕（保育社）

付着生物図鑑

●種名● モクスヨコエビ科

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 世界に7属、日本には3属が知られている。

●形態●

第1触覚は第2触覚の柄部より長く、その鞭部は柄部より長い。第2小顎の鞭肢は退化傾向にあり、通常1節、2節の場合はその基節は著しく小さい。顎部鞭肢の第4節は爪状で大きい。第3尾肢は通常単枝であるが、双枝の場合は、内枝が鱗状で小さい。

●生活●

各地の海藻場、転石等に生息する。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑〔Ⅱ〕（保育社）